



# 共済福祉会だより

社会福祉法人 共済福祉会 発行責任者 石津博士

住所 静岡県田方郡函南町平井717-2 TEL 055(978)4100

ホームページ <http://kyosaifukushikai.jp/>

e-mail:info@kyosaifukushikai.jp



共済福祉会 伊豆総合福祉センター屋上より望む富士山

謹賀新年



理事長  
石津博士

新年あけましておめでとうございます。年頭にあたり謹んでご挨拶を申し上げます。

まずもつて、昨年三月一日に発生しました東日本大震災および福島原発事故で被災された皆さんの一日も早い復興を心よりお祈りすると共に、国家・国民が一つになって復興まで支援していかねければなりません。また、今回の震災では多くの介護施設も被災しており、その状況と必要な対策が整理され明らかになりつつあります。当会も東海地方であり、震災等の意識は高い地域ではありますが、今一度情報を吟味し防災対策に計画的に生かしていきます。

さて、当施設をご利用して頂いている皆さんには健やかに新年を迎えられ、新年を楽しんでもらう催しも行っているところであります。ご家族の方々にも安心して頂きたいと思

います。

私たち共済福祉会も昨年四〇周年を迎え、「初心に帰って利用者の尊厳を大切に満足してもらえるサービス提供に心がけること」を役員一同が再認識し新たな地平を切り開く一年としたところであります。介護制度も超高齢化時代を目前に、施設だけでなく医療との連携を強化し在宅での医療・介護サービスを充実するなど地域包括ケア体制強化の方向に向かっていくものと考えられます。従って、私たちも地域における需要とニーズを注視しつつ必要なサービス内容の充実と体制作りにより柔軟に対応していかねばなりません。

今年は、三年に一度の介護報酬等改定年度であります。サービスの質と応能負担と給付のバランス、介護職員の処遇改善向上など経営努力も果たす前提で安心した介護制度の維持ができる改定を望みたいと思

います。現在政府において社会保障と税の一体改革を検討されていますが、世界経済の先行き見通しが立たないなか円高など日本経済の大変厳しい状況で、今の国の財政状況では社会保障制度の維持は困難であり、将来展望が持てるようこそ政治が役割を果たさなければなりません。社会的弱者が安心して暮らせる社会の展望が持てる年となることを望みます。

高齢者福祉部

二〇一二年  
新年のご挨拶

高齢者福祉部長

宮本良美



新年あけましておめでとう  
ございます。今年も幸多き年  
でありますよう心からお祈り  
申し上げます。

我が家から朝な夕なに富士  
山が見えます。見慣れた光景  
ですが、年の初めに見る富士  
は格別です。清々しい勇姿に  
あらためてこの一年の平穩無  
事を願ったところです。

今年(辰)は戦後六回目の辰年を  
迎える年であります。過去そ  
れぞれの年において活発な経  
済活動により、大きく発展し  
てきました。今年も同様に日  
本国中が活気あふれる世の中  
になりますように、祈らずに  
はいられません。

龍(辰)は神秘の象徴と言  
われています。正義と信用が  
辰年の特徴のようです。私た  
ち職員は、今年この龍を守護  
神として一人ひとりが自分を  
成長させ、共済福祉会全体が  
更なる発展を遂げるよう、精  
進していく所存です。

昨年を象徴する言葉として  
「絆」があげられました。東日  
本大震災後初めての年が幕を  
開けました。悲しみと混乱の  
中で私たちがどのような未来  
へ向かって行くのかを考える  
とき、一人ひとりの心の中に  
「今もこれからも生き続ける」  
という強い意志を持つことが  
重要であると感じました。

人は、住み慣れた地域で喜  
び続けられることができるサー  
ビスを享受することが基本に  
あると思います。

私たちは、「地域と絆」を基  
本にさらに質の高いサービス  
を目指し、利用者の方々と職  
員とが感動を分かち合うこと  
が出来るような福祉をめざし  
ていきます。



新年も日は禅語?

高齢者福祉部課長

増田久美子

ビブリオマンシーという言  
葉をご存じでしょうか。本を  
開いてそのページにある言葉  
をお告げとして参考にする占  
いのことをいいます。専用の  
本もありませんが、昨年私が  
時々気合を込めて開いたのは、  
自然の美しい写真が散りばめ  
られた一冊の禅語集です。

禅語は「一期一会」「日は  
好日」など耳慣れたものも多  
いですが、元々は仏教の名句  
や中国の詩句です。禅の修行  
のように厳しい言葉も多く、  
実に奥深く示唆に富むものが  
多い：こころがミソです。つま  
り、その言葉を受け取る者が  
いかようにも解釈できるとい  
うことがビブリオマンシーに  
は重要なのです。

昨年は、新しい環境と出会  
い、これまで経験したことな  
い状況に身を置く日々とな  
りました。先の見えない課題  
と取り組む中で、時々開いた  
本のページにあった禅語は、  
物事の新鮮な見方や背中を押  
してくる力、肩の力が抜け

る意外性など多くを与えてく  
れました。「打葛藤」「八風吹け  
ども動ぜず」「行雲流水」など  
力強く美しい言葉の数々。

今年元日の朝、清々しい気  
分を運んでくれた言葉を紹介  
します。「雲去山嶺露(雲去つ  
て山嶺あらわる)」「壮大な風  
景が希望を感じさせてくれま  
す。

しかし、二日の朝ページを  
開くとそこには「看脚下(足  
元を見よ)」「やはり禅語は、  
甘くない。今年も地道に一歩  
ずつ、です。

腰痛予防のために筋トレを

伊豆白寿園

看護係長 齋藤美和

健康で天変地異のない穏や  
かな一年でありますようにと  
祈りを込め、平成二四年がス  
タートしました。

この時期は一年の中で最も  
寒い季節でもあり、運動不足  
になりやすいうえ、暮れから  
一月にかけて暴飲暴食のため  
に体調を崩す人が多くなりま  
す。また、インフルエンザや  
感染症胃腸炎はもちろんのこ  
と、我々介護に携わるものと  
しては、腰痛も侮れません。

日頃から腰痛予防のために  
コルセットをしたり、腰痛を  
起こさないために介助の仕方  
を学び、また、利用者を介助  
するための介護用品を積極的  
に取り入れ、腰への負担軽減  
を図ってきました。

皆さんは「ココモ」という  
言葉を耳にしたことはありませんか。これは、腰痛、膝痛、  
骨粗鬆症の人たちのことで、  
四〇歳以上の一〇人に八人が  
「ココモ」であり、新・国民病  
といわれています。原因は、  
筋肉と骨の衰えです。

予防には筋肉トレーニング  
が大切とのこと、日々の生  
活の中に適正な運動を取り入  
れ、筋力・骨などの運動器を  
強化することが「ココモ」予  
防や将来の寝たきり予防に繋  
がるそうです。

良い介護は、職員が健康で  
あることが第一条件です。そ  
のためには今年も、私も筋トレ  
に励み、健康で頑張りたいと  
思います。





障害者福祉部

新春を迎えて

障害者福祉部長

矢野 秀 男



平成二四年も幕明けし、よい年をお迎えいただけましたでしょうか。

昨年を振り返ればトップニュースは三・一一東日本大震災における津波被害や福島第一原発の被害が忘れられませんが、多くの方々が被災し今でも復興を目指して避難生活をされています。海外では、タイの大洪水により大都市に雨水が溜まり日系企業四百社以上の工場が浸水し経済への影響を及ぼし、今後の危機管理の大切さを痛感した年でした。

た。国内では民主党政権となつてから鳩山・菅内閣として「どじょう内閣」野田政権へと変わりましたが、いまだ改革が進んだものが感じられず不安な日々となっています。しかし、スポーツ界で「なでしこジャパン」が女子ワールドカップサッカーで初めての金メダル、女子フィギュアの浅田真央選手がご家族の不幸を乗り越え全日本選手権に優勝するなど、日本中に大きな感動を与え、悲しみ・喜びと激変する年でありました。

今年、伊豆リハビリテーションセンターは、四月の新体系移行に向け準備をしております。今までの身体障害者更生訓練施設から、自立訓練・生活介護・施設入所支援へと移行する予定です。伊豆ライフケアホーム・伊豆ふれあいデイサービスセンター・リベルテは、利用者・家族の皆様への良質なサービスの提供を目指し、喜んでいただける支援となるよう資質の向上に努めてまいります。

皆様方にとって良い年でありますよう職員一同心から願っております。

入所して一年が過ぎて

伊豆ライフケアホーム

利用者 澤田 はるみ

ライフに入所したのは忘れもしないクリスマススイブの日でした。当初は戸惑いもありましたが、皆さん温かく受け入れてくれました。入所して大分慣れた頃の三月に東日本大震災が起きました。心が痛み明日は我が身と思いながらも、とかく趣味に走つてしまいがちな私に、一年もあとわずかという日に一通の葉書が届きました。そこには「大変な一年になっていつも心のどこかで東北に思いを寄せている時間があります」と。

私は自分の事を猛省しました。のんびり呑気にマイペースがモットーの私ですが、これからは、東北に思いを馳せることを忘れず、日々生活を送つていこうと誓いました。

八月には納涼の夕を楽しみ、一月には文化祭を楽しませてもらいました。特に私が感激したのは利用者忘年会でした。事前準備として、地元の高校生とフラワーアレンジメントを初体験。当日はプロの方

方がメーキャップをして下さり、スタッフのきめ細やかな演出と美味しい料理が盛りだくさんで、並々ならぬ労力の事を思うと涙が出そうなくらい嬉しかったです。



楽しみにしていた希望会

伊豆リハビリテーションセンター  
ケアワーカー 高木 直美

一二月二七日、日頃、お世話になった方を招き、一年の労をねぎらう、とても楽しみにしていた「希望会」が催されました。職員が仮装し、利用者の司会で、乾杯の合図と共にクラッカーが盛大に鳴り、和やかにスタートしました。



利用者が楽しみにしている食事タイムでは、「まずはデザートから」と好きな物を最初に食べる人、「おいしい物は後でゆっくり」と残しておく人など、楽しみ方は様々でしたが、最後には「満腹〜！」と笑顔がこぼれるほどでした。会話も弾み、イルミネーションタイムでは、ライトの輝きが、利用者が協力し合つて作った装飾とコラボレーションし、手作りの良さが引き立ち、とても綺麗でした。グループ活動の他、余暇時間も使い、頑張つて作ったので、感動もひとしおだった事でしょう。その後、ビンゴやクイズをし、楽しく会を終りました。一年の労をねぎらう事ができ大変嬉しく思いました。

### いつも笑顔で

相談支援事業所リベルテ

担当係長 竹村聖一郎



年頭のご挨拶申し上げます。相談支援事業所リベルテは、平成一四年の四月に地域で暮らす障害を持つ方とそのご家族の支援を目的にスタートをいたしました。当時は措置制度、平成一五年には支援費制度、平成一八年からは障害者自立支援法と一〇年の間に障害福祉施策が大きく転換をいたしました。そして、障害者総合福祉法(仮称)が本年は国会に提出をされる予定になっています。障害福祉施策は大きく変

わつてきていますが、相談支援専門員として、障害を持つ方の地域生活に触れ、生活の困りごとを伺い、解決に向けていろいろなお話をさせていただく事に大きな変化はありません。

障害を持つ方の地域生活は、生きにくさや不便さといった誰にでもある生活のしづらさが、健常者よりも大きいことが障害となつていると思えます。生活のしづらさの大きさに頭を抱えてしまうことが多いのですが、出来る事ならいつも笑顔でいたいと思つています。もともと、人を笑わせることが好きだったので、お話をするとき心掛けています。話が終わるまでにみなさんに笑っていただき、笑顔を見たいという事です。昨年、東日本大震災もあり、日本から笑顔が少なくなつてしまつた時もありました。今年は多くのおみなさんに笑っていただき、多くの笑顔に会える事を目指していきたいと思つています。そして、地域で暮らすみなさんの生活のしづらさが少しでも解決される地域づくりを目指します！

### ◆年男【辰】年女◆

#### ◆今年の目標

伊豆白寿園

ケアワーカー 赤阪恵美



白寿園に就職して三年。緊張感ある中、笑顔あふれる場面も多く、日々学ばせていただいています。今までは、自分から進んで意見を言う事が出来なかつたので、今年、自分の意見・考えを持つて相手に伝えるよう努力します。日々関わる利用者の気持ちを理解し、他職員と協力して、利用者に満足していただける介護を目標に頑張りたいと思つています。

#### ◆今年の介護目標

伊豆白寿園

ケアワーカー 木村実紗

一度目の年女を迎えた私の介護目標は「笑顔のある介護」。利用者の心身に寄り添つた



介護、利用者のお話をゆつくり聞くと、いつも初心を思い出し、今年、目標は、目標に向けて、まず、話を聞くときは手や足を止め、心と時間にゆとりある関わりをし、生活に笑顔が溢れさせていきたいと思つています。

#### ◆AKB48の仲間入り…

伊豆リハビリテーションセンター

職能訓練担当 佐藤敏之



入社九年目になりました。ここまで自分が続けて来られたのも、日々皆さんに支えられているおかげだと感謝しています。今年は昇り龍のように、緩やかでもいいから上昇していきたいなあ…と願いをこめ、感謝の心を忘れず、一日一日を大切にしていきたいと思つています。

#### ◆辰年生まれなので…

伊豆ライフケアホーム

ケアワーカー 齋藤明寛



あつと、という間に人生二回目の年男を迎えました。とは言つもの、社会人になつてまだ三年程。年には龍とタツノオトシゴがよく描かれますが、自分自身はまだ後者です。仕事も私生活も精一杯頑張つて、いつかは龍のように力強く、全てがよい方向に上昇していけるようにしたいと思つています。

ご寄付ありがとうございました

【寄贈品】

清水町社会福祉協議会 様

